

科学者の卵たち 研究成果を発表

東北大教授ら指導

高校生に研究現場を体験してもらおう東北大の「科学者の卵」養成プロジェクトの最終講義が13日にあり、独自の研究テーマを設定して現役教授らの指導を受けた「発展コース」の14チーム(のべ48人)がそれぞれの成果を発表した。

質疑も含めて発表時間は7分間しかなく、各チームとも内容を要約するのに苦労した様子。それでも「同じ試料の中で違う結晶ができた理由を

どう説明するか」との会場からの質問に「場所によって溶液の濃度に差ができたため」と即座に返答するなど、本物の学会のようなやりとりも見られた。

プロジェクトに参加したのは東北6県と埼玉、栃木両県の高校1、2年生計100人(女子58人、男子42人)。昨年6月から月1回集まり、医学・生命科学や宇宙、光学などの共通講義を受けた。

レポートの内容などが優秀だった生徒32人が発展コースに選抜され、夏休みに合宿するなどして実験。うち16人は二つの研究テーマに挑戦した。

朝日新聞社に無断で転載することを禁じます

科学者の卵
養成講座